

プレスリリース [2023年5月26日]

(計3枚)

**「出来事との距離―描かれたニュース・戦争・日常」展を開催**

ニュースや戦争を描いた作品に触れ、様々なアーティストが「出来事との距離」にいかに向き合ってきたかを探る「出来事との距離―描かれたニュース・戦争・日常」展を市立国際版画美術館で開催します。

本展では、過酷な戦争経験を原点に、社会や人間そして自分自身をも鋭くユーモラスに表現した浜田知明や古今東西のアーティストの作品を当館収蔵品中心に紹介するとともに、メディアやSNSが伝えるニュース現場を訪問し、想像を働かせて当事者の姿を自画像で描く松元悠などの若手アーティストの作品など約150点を紹介します。

- 会 期：2023年6月3日（土）～7月17日（月・祝）  
※休館日＝月曜日 \*ただし7月17日(月・祝)は開館
- 開館時間：平 日＝午前10時～午後5時  
土日祝＝午前10時～午後5時30分  
※入場は閉館30分前まで
- 会 場：町田市立国際版画美術館（原町田4-28-1）
- 観 覧 料：一般＝800(600)円、大・高生400(300)円、小・中学生以下は無料  
※( )内は20名以上の団体料金  
※展覧会初日6月3日(土)は入場無料  
※身体障がい者手帳、愛の手帳、精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方は半額  
※シルバーデー6月28日（水）は65歳以上入場無料
- そ の 他：内覧会は実施しません。  
詳細は、国際版画美術館公式サイト (<http://hanga-museum.jp/>) をご参照ください。

**■本件に関するお問い合わせ先**

文化スポーツ振興部版画美術館 副館長 星野 Tel 042-726-2771

描か  
れた  
ユ  
ース

戦  
争  
日  
常

# 出来事との距離 — How News, War and Daily Life were Described — Distance from the Incident

## 2023. 6.3 [土] — 7.17 [月・祝]

休館日=月曜日(祝日は開館) 開館時間=平日:午前10時~午後5時、土日祝:午前10時~午後5時30分  
※入場は閉館30分前まで ◇状況により、会期等を変更する場合があります ◇ご来館前に当館HPやSNSでご確認ください



主催 = 町田市立国際版画美術館  
松元 悠 《蛇口泥棒(長浜市、東近江市、砺波市)》 2022年、リトグラフ、個人蔵

観覧料=一般800(600)円、大・高生400(300)円  
※小・中学生以下は入場無料 ※( )内は20名以上の団体料金  
※展覧会初日6月3日(土)は入場無料  
※身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方は半額  
※シルバーデー(毎月第四水曜日)6月28日は65歳以上の方の入場無料  
割引=リピーター割引、ウェブクーポン割引ほか、  
各種割引を実施(詳細は当館HPに掲載)

## ゴヤ、月岡芳年、浜田知明から現代へ



**町田市立国際版画美術館**  
Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 TEL 042-726-2771 <http://hanga-museum.jp/>  
お問い合わせ: 町田市役所代表電話 042-722-3111



@machida\_hanbi



# 出来事との距離

ニュースや戦争を描いた作品に触れるとき、時代や立場によって表現できることが違うことに気づきます。また当事者として経験したことも、時が経ってからやっと伝えられることがあるでしょう。

例えば同時代の事件を描けなかった江戸期の浮世絵は、故事や古典になぞらえて時事を伝えようとしてきました。また自身の軍隊経験を描いた浜田知明は、時を経るにつれ戦争の構造に迫る作品も発表していきます。

展覧会ではこうした視点から当館収蔵品を紹介するとともに、若手アーティストたちの作品も展示。なかでも特集する松元悠は、メディアやSNSが伝えるニュースの現場を訪れて想像を働かせ、当事者の姿を自画像で描くことで、日常と地続きにある「事件と人間の不可解さ」に分け入る注目のアーティストです。

本展を通じて過去、現在のアーティストが「出来事との距離」にいかに向き合ってきたかを探ります。



①



②



③



④



⑤



⑥

主な出品作家(生年順)  
フランシスコ・ゴヤ、  
月岡芳年、小林清親、  
四代歌川国政、  
畦地梅太郎、浜田知明、  
馬場禱男、石井茂雄、  
郭徳俊、松元悠、  
土屋末沙、小野寺唯、  
ソ・ジコ

- ① フランシスコ・ゴヤ  
『戦争の惨禍』より「見るにたえない」  
1810-20年、エッチング、ラヴィ、  
ドライポイント、ビュラン
- ② 浜田知明《ボタンB》1988年、  
エッチング、アクアチント
- ③ 月岡芳年『魁題百撰相』より「森蘭丸」  
明治元年(1868)、大判錦絵
- ④ 四代歌川国政  
『鹿児島各県西南珍聞』より  
「第7号 俗称西郷星之図」  
明治10年(1877)、大判錦絵
- ⑤ 松元悠《悪い神様の耳を食べる(佐野市)》  
2020年、リトグラフ、個人蔵
- ⑥ 土屋末沙『支配と自由の妄想ラン』2022年、  
木版、個人蔵

\*表記がないものは当館所蔵

関連イベント

- ①アーティスト・トーク  
6月17日(土)午後2時～ 45分程度  
出演:松元悠(美術家、版画家)  
会場:企画展示室 | 要本展当日有効観覧券
- ②ギャラリートーク  
6月18日(日)、7月1日(土)  
担当:町村悠香(本展担当学芸員)  
各日午後2時～ 45分程度  
会場:企画展示室 | 要本展当日有効観覧券
- ③プロムナードコンサート「戦争と日常 音楽で描かれた情景」  
7月16日(日)午後1時～、3時～(各回30分程度) 演奏:江澤隆行(ピアノ) 会場:エントランスホール | 参加無料

※いずれも事前申込不要です。 ※中止・変更となる場合があります。詳しくは当館HPをご確認ください。

**町田市立国際版画美術館**  
Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 Tel.042-726-2771 <http://hanga-museum.jp/>  
【お問い合わせ】町田市役所代表電話 042-722-3111

同時開催 特集展示「大正・昭和初期の東京風景 織田一磨を中心に」  
6月14日(水)～9月24日(日) 常設展示室 入場無料



@machida\_hanbi

会期中のシルバーデー  
(6/28)は町田駅前から  
無料送迎バスを運行。  
詳しくは当館HPを  
ご覧ください。



混雑緩和のため、入場制限を行う場合があります。



小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩約15分